

# 具体的施策一覧

施策方針	基本施策	具体的施策	内容	No.	取り組み	実施状況	数値データ	分類	発信方法	備考(市の取り組み等)
1. 循環型社会の	(1) 情報発信と情報の共有	○広報誌、啓発誌、ホームページ、掲示、イベントなど様々な手法や媒体を活用した情報発信	市民や事業者へ、ごみ処理の現状を広く周知し、ごみの減量やリサイクルに取り組む意識を高める。より多くの人に情報を伝えるため、広報誌や啓発誌をはじめホームページ、施設での掲示等様々な媒体を活用するとともに、イベント等においても積極的にPRを行う		市				HP・あ～る	
		○ごみ量や収集処理経費を公表するなど、取り組み結果や効果の見える化		1		○		強化	HP	HP上に「ごみ処理量」「家庭ごみ量速報」を掲載。今までは「あ～る」3月号に「川西市のごみ量報告」を掲載していた。10月決算後に公表のため、3月号に掲載していたが、決算状況が約半年後となり遅すぎるのではという意見があり、現在はHPに「ごみ処理量」をUPしているため、「あ～る」の掲載は2年3月号をもって終了。
		○簡単に取り組める減量方法など具体的な取り組み手法の紹介		2		○		強化	HP・あ～る	「水切り」「ふクレル」「ごみ減量DVD」等をHP・「あ～る」で紹介
		○市のごみ減量化施策や助成制度などの周知		3		○		強化	HP・あ～る	「集団回収」「生ごみ処理機(R3末で終了)」をHP・「あ～る」に掲載
		○市民、地域団体、事業所等による取り組みの情報提供		4		×		強化	—	事業所については「減量化計画」の依頼のみ。市民、地域団体の取り組み情報の提供はしていない
		○事業者への減量化・リサイクル手法等の情報提供		5		×		強化	—	事業者へは「減量化計画」の依頼のみで、その後情報提供はしていない
		○市民、地域団体等が実践している取り組みの情報収集	日常生活で気軽に実践できる事例、アイデアや工夫について市民や地域団体等から情報を収集し、誰もが実践できる取り組みを推進する	6	市	△		強化	HP・あ～る	市民や地域団体から情報収集していない。H26に美化が作成したチラシを自治会・市民宛に配布(HP「スリムちゃんからのお願い」)
		○市内事業所の取り組みや店頭回収等の情報収集	事業所の取り組みや販売店での店頭回収品目について情報収集し、広く情報を発信することで取り組みを推進する	7	市	×		強化	—	事業所の取り組み販売店での店頭回収品目について情報収集していない。また情報発信もしていない
		○国の動きや他自治体の事例など先進的取り組みの情報収集	国の政策や他自治体で実施されている先進的な取り組みについて、情報収集する	8	市	○		強化	—	HPや阪神間の担当者会議において情報収集を行う
		(2) 環境教育	○ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施	学校や自治会、コミュニティ等へ呼び掛け開催回数を増やし、幅広い年齢層に対応したプログラムを工夫する	9	市	○	有	重点	HP・あ～る・市役所・公民館
○小学4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進	国崎CC見学での利用と、ごみ減量やリサイクルへの気付きや取り組みにつながるよう活用を促進		10	市	○		重点	—	「ごみ減量ワークブック」の発行(直接小学校に配布)「指導用手引」もあわせて配布	

○国崎クリーンセンターの見学に伴う出前講座の実施	国崎CCには「ゆめほたる」が併設されており、施設のスタッフによる施設見学が行われている。見学と併せて市の出前講座を実施することでごみ減量、リサイクルに対する意識の向上を促す	11	市	○		強化	HP・あ～る	HP、「あ～る(H30.10)」で国崎CC見学を合わせた出前講座を案内。また、申込時に国崎CC見学の確認を行っている
○学校園・保育所等との連携強化	学習会のプログラムやワークブックを作成するなど年代に応じた効果的な環境学習を行う	12	市民・事業者・市	○		重点	HP・あ～る・市役所・公民館	HP、「あ～る」等で案内。子どもを対象としたイベントを行う(学習会、キッズリ・ぼ・ん、食べきりラリー、クッキングなど)
○マイバッグ持参・ノーレジ袋運動の実施	店舗等における呼びかけなどで周知徹底することで持参率を高め、市民の意識向上を図る。市と協働でキャンペーンを実施していない新たな事業者にも協力を呼び掛け、マイバッグ持参・ノーレジ袋運動を展開する	13	市民・事業者・市	○		強化	HP・あ～る	HP、「あ～る(H23.11)」で過去に「マイバッグ持参・ノーレジ袋キャンペーン」の案内あり。 H10～H26まで「マイバッグ持参・ノーレジ袋キャンペーン」を実施していたが、エコバッグが浸透してきており、H26をもってキャンペーンは終了。(出前講座、イベントで啓発、配布している) ・R2:「食品ロス削減の促進と「川西市食べ残しゼロ運動」登録店舗への事業支援、マイバック普及の促進」を目的とした企画を実施し「mottECOマイバッグキャンペーン」を実施。 ・R3: KOHYOと協働「マイバッグアンケート」を実施しオリジナルマイバッグを配布。
○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	公募による市民が主体的にごみ減量に向けた取り組みを実践していく。参加者が活動終了後においても地域等でごみ減量の取り組みを広められるよう内容を充実していく	14	市民・事業者・市	○		重点	HP・あ～る・市役所・公民館	チャレンジ・モニターはH21から実施。R1は活動したが、コロナによりR2.3のイベント(キッズりぼん)は中止。以降未開催
○地域(コミュニティ、自治会等)との連携	連携を図り、ごみステーションの環境美化、集団回収の周知、出前講座等の開催を推進する	15	市民・市	○		重点	HP・あ～る・市役所・公民館	HP、「あ～る」等で集団回収・出前講座等案内
○スリム・リサイクル宣言店など市内事業所との連携	スリム・リサイクル宣言に関する情報を市民に広く周知し、加盟している事業所には、取り組み内容や事例などをフォローし、未加入の事業所に対する加入促進を行う	16	市民・事業者・市	×		強化	—	H30年まで登録店舗の確認していたが、以降は事務を行っていない
○事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進	現在の計画書の内容を工夫する等、提出事業所を増やし現状の把握に努める。得られた情報の活用に努める	17	事業者・市	×		強化	—	提出事業所については増やしていない。R4に内容修正した
○国崎クリーンセンター(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)との連携	処理・処分情報の共有や啓発施設との情報交換など国崎CCとの連携を強化し市民の意識向上や分別ルールの徹底を図る。また、事業系ごみの減量化・資源化を促進する。国崎CCの事業系持込ごみの処理できないごみの混入防止、手数料の検討等について組合、構成市町と連携を図る	18	市	○		強化	—	構成市町で担当者会議等を開催し、連携を図っている
○近隣自治体との協調と連携	近隣自治体と情報共有し連携しながら施策を推進する。また、災害発生時等緊急事態の際には、周辺自治体と連携して対応する。国等への要望に対しても他の自治体と連携を図る	19	市	×		継続	—	近隣自治体等と連携していない

2.ごみの発生抑制と再使用の推進 (1)発生抑制の推進	○生ごみの減量化の促進	家庭から排出される生ごみは、家庭系ごみの中でも主要なもののひとつであり、計画的な買い物や調理の工夫をすることで、買いすぎ・食べ残しを防ぐことができ、家計にやさしい行動である。さらに堆肥化や水切りにより可能な限り減量化をすることで、一層の減量が可能である		市民・事業者・市						
	○食べ残し、手付かず食品ごみの削減		20		○	強化	HP・あ〜る・市役所・公民館	10月は「食品ロス削減月間」のため、市役所市民ロビーにて「啓発展」を実施。R3は「食品ロス削減レシピ」を募集。HP、「あ〜る」で啓発。R3年度「食べきりララー」実施		
	○エコクッキングの実践		21		○	強化	HP・あ〜る・市役所・公民館	「夏休み親子バスツアー」を実施 (H27～H28:国崎CC、H29～R1:大阪ガス、R2～R3はコロナで中止、R4.7.23実施)		
	○生ごみの水切りの促進		22		○	強化	HP・あ〜る・市役所・公民館	「あ〜る(R1.10)」で掲載、出前講座等で啓発		
	○生ごみの堆肥化		23		○	有	継続	—	生ごみ処理機等購入費助成制度については、R3年度末をもって終了し、今後替わるものを検討	
	○容器包装ごみの削減	市民…買い物バッグを持参し、レジ袋をもらわない、詰め替え可能な商品や簡易包装の商品を選ぶよう心掛ける。事業者…マイバッグを推奨し、店舗での簡易包装やばら売り、量り売りの導入を積極的に検討する	市民・事業者・市							
	○マイバッグ持参・レジ袋の削減		24		○	強化	HP・あ〜る・出前講座	マイバッグ持参・ノーレジ袋運動の実施 (マイバッグキャンペーン:H15から実施。出前講座・イベントでマイバッグ配布)		
	○詰め替え品の利用、過剰包装の削減、簡易包装・ばら売りの促進		25		○	強化	HP・あ〜る・出前講座	出前講座等で啓発、「あ〜る(H31.3)」で掲載		
	○よく考えて必要なだけ購入する、不要なものは断る、修理をして長く使うなどごみを出さない行動の実践	市民…計画的な買い物を実践し、レジ袋などごみとなる可能性のあるものを極力購入しないよう心掛ける。また、壊れたものも修理が可能であれば修理し長く使う。事業者…レジでの声掛け、修理に関する情報提供などに取り組む	市民・事業者			○	継続	HP・イベント	ごみ減量啓発動画で、ごみとなる可能性のあるものを極力購入しないよう啓発。また、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃのお医者さん」をH31.3「キッズリぼん」で実施(おもちゃのみ)、大型ごみ説明会時「すぐ捨てるのではなく、修理して…」と説明	
	○事業系一般廃棄物減量化計画書の提出	市から事業系一般廃棄物減量化計画書の提出依頼があった場合、積極的に計画書の提出に協力する	事業者			○	有	継続	HP	毎年5月に依頼(R4:113件送付L53件回答)
	○製造、流通過程における発生抑制	商品の製造、流通過程において、原料調達や輸送時の梱包の無駄をなくすなどの改善を行い、発生抑制に努める	事業者			×		継続	—	特に何もせず
	○マイバッグ持参など消費者に向けた啓発	販売等を行う事業者については、消費者に向けてレジでの声掛けやマイバッグ持参を呼びかけるポスターの掲示等レジ袋の利用量削減に向けた取り組みを行う	事業者			×		継続	—	特に何もせず

	○市の行事やイベントにおけるごみ減量への取り組み	市の行事やイベントにおける、ごみ減量化や啓発について関係所管と連携しながら取り組みを進める	30	市	○		継続	HP・あ～る	イベント等で依頼があれば積極的に参加しごみ減量の啓発に取り組んでいる (ハロウィン、子育てフェスティバル、川西病院まつり、川西阪急等)
	○大型ごみの有料制導入の推進	ごみの減量目標の達成に向けて、大型ごみの有料制について検討する	31	市	○		継続	HP・あ～る・説明会	R28.5から大型ごみ有料化実施
	○ごみの有料化についての調査研究	大型ごみ以外の家庭ごみの有料化については、ごみ排出量の推移を慎重に見極めながら、近隣自治体の動向や先進事例等における導入実績や効果の検証を進める	32	市	○		継続	—	他市の状況を調査
	○市民、事業者への情報発信	ごみの排出量や処理費用等の現状の他、身近なごみ減量化アイデアなどを紹介。また、事業系ごみについては、ごみ分別の解説、紙の資源化促進などごみ削減成功事例の紹介等、情報を発信する。また、市民のごみ減量化への取り組みを支援する事業や制度を実施	33	市	△		継続	HP・あ～る・動画	「あ～る」で水切りの紹介など掲載。事業系ごみについては「あ～る(R2.3)」で「市で収集できないごみ」の中で事業系ごみについて掲載
(2) 再使用の推進	○リターナブルピンの利用等リユースの促進	市民はリターナブルピン等を積極的に利用するとともに、事業者は、リターナブルピン等の回収を推進する	34	市民・事業者	×		継続	—	特に何もせず
	○フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の活用	不要になったものを必要な人に譲るフリーマーケットやバザー、リユースショップを積極的に活用し、ごみとなるものを減らす	35	市民	○	有	継続	HP・あ～る・市役所・公民館・森の泉	市では「キッズりぼん」「ふくれル」を開催。リユース情報誌「りぼん」(R4.3末で休止)
	○リサイクル情報誌「り・ぼん」の利用促進	「り・ぼん」の周知徹底を行うほか、現在のシステムについて見直しを行い改善する等、より多くの市民の利用を促進する	36	市	○		継続	HP・あ～る・市役所・公民館	情報提供のあり方を見直すため、R4.3.31をもって一時休止
	○市民、事業者への情報発信	市民に対してはリユースを促進するための具体的な情報(国崎CCや保育所でのバザー開催状況等)を提供する。事業者に対しては国や業界団体におけるリユースシステムに関する動きなどの情報を提供する	37	市	△		継続	HP・森の泉	国崎発行の「森の泉」でフリーマーケット開催案内。事業者には特に何もせず
	○ごみの分別及び適正排出の徹底	家庭や事業所から出るごみは資源物を分別する。事業所は排出者責任の原則に基づき、適正排出に努める。市民からの報告でごみステーションに不適正に排出されていることが分かった場合、現地調査、内容確認のうえ、訪問指導などの対応を行う		市民・事業者・市					
	○紙類の分別、資源化の促進		38		○	有	強化	HP・あ～る	「あ～る」「保存版」で紙の分別説明と、集団回収の啓発。不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポスティング)実施
	○プラスチック製容器包装の分別の促進		39		○		強化	HP・あ～る	「あ～る」「保存版」でプラ容器分別説明。不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポスティング)実施

(1) 再生利用(リサイクル)の推進	○ペットボトルの分別の促進		40		○		強化	HP・あ～る	「あ～る」「保存版」でペット分別説明。不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポステイング)実施	
	○事業系ごみの排出者責任の徹底		41		○		強化	HP・あ～る	「あ～る」「保存版」で事業系ごみについて説明。事業系ごみの不適正排出があれば現地調査、訪問指導実施	
	○店頭回収の促進	市民は食品トレイ、紙パックなど積極的に店頭回収を利用する。事業者は店頭回収の導入や拡大を検討し、市民が気軽に利用できるようPRする	市民・事業者	42		△		継続	HP・あ～る・出前講座	「あ～る(H29.10)」「出前講座」で啓発。事業者については特に何もせず
	○携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力	レアメタルやレアアースなどはリサイクルすれば再利用が可能。特に携帯電話は事業者による自主回収ルートがこうちくされているため、市民、事業者は積極的に回収に協力する。	市民・事業者	43		○		継続	HP	HP(携帯電話のリサイクルにご協力を)で啓発 使用済小型家電回収・リネットジャパンを紹介
	○集団回収への積極的な参加	集団回収はごみ減量やリサイクルへの意識高揚はもとより、地域コミュニティの活性化にも寄与するもので、積極的な参加が不可欠。市は集団回収の支援を行い、市民は積極的に参加し、参加していない市民への情報提供などに努める。	市民・市	44		○	有	強化	HP・あ～る・市役所・公民館	HP、「あ～る(H29.10)」で「集団回収」の紹介。市役所、公民館にチラシ常設。
	○分別ルールの分かりやすい啓発	H21から開始した新たな分別ルールについて、分別種別によっては分かりにくいという意見もあり、パンフレットの活用促進や出前講座などを通じて啓発を図る	市	45		○		継続	HP・出前講座	HPでパンフレット活用の案内、出前講座などで啓発 R4から分別方法変更。HP、広報誌(Rあ～るかわにし)で案内
	○店頭回収など事業所の取り組みに関する情報提供	事業所が実施する店頭回収やごみ減量に関わる出前講座の取り組みについて情報を収集し市民へ情報提供する	市	46		○		継続	出前講座	店頭回収については出前講座で啓発
	○希少金属(レアメタル)のリサイクルに向けた、小型家電製品の資源化に関する調査研究	小型家電製品の回収システム等について、他自治体における先進事例、法整備の動向などの情報収集を行い、有効な資源化方法の調査研究を進める	市	47		△		継続	HP・あ～る	H26.10から使用済小型家電回収BOX設置済。「あ～る かわにし(H27.10)」で小型家電回収について啓発。効果や課題について調査研究・導入の検討?
	○ごみ袋の透明・半透明化の調査研究及び導入の検討	さらなるごみの減量化、分別・リサイクル意識の向上を目指すため、他自治体における事例等について情報収集を行い、効果や課題等について調査研究及び導入の検討を進める	市	48		○		継続	HP・あ～る・出前講座	ごみ袋の透明・半透明化についてはH29.2から実施済。
	(2) 循環の輪の形成	○リサイクル製品や環境への負荷ができるだけ少ない製品の購入	製品を購入する際、エコマークやPETボトルリサイクル推奨マークといった環境ラベル等を参考にしながら、環境や3Rに配慮したリサイクル製品や環境への負荷が小さな商品を選択するよう心掛ける	市民・事業者・市	49		○		継続	出前講座・学習会
○グリーン購入法に基づく製品やサービスの情報提供		市で使用する製品については率先してグリーン購入法に基づく製品を取り入れ、環境に配慮した製品やサービスに関する情報を市民、事業者へ提供する	市	50		×		継続	—	グリーン購入法に基づく製品を取り入れるようにしているが、市民・事業者へ情報提供していない
(1) 安定的	○安定的、効率的な分別収集の実施	本市における収集運搬体制について。今後においても安定的、効率的な分別収集を実施する	市	51		○		継続	HP・あ～る・説明会・保存版	市民にはHP、「あ～る」等で分別収集を案内し、収集は効率的な分別収集を行っている
	○収集作業の安全性の確保	危険物の混入による事故が多く見られる。分別方法について正しい認識を高め、適正排出を促進するための周知徹底を図る	市	52		○		継続	HP・あ～る・保存版・出前講座	「保存版」、「あ～る(R2.3、R3.3)」、「出前講座」で分別徹底の啓発をしている

4. 環境負荷の低減に配慮した収集処理の推進	効率的な収集運搬体制の確立	○在宅医療廃棄物の適正排出の周知	在宅医療で使用された針や注射器などを家庭ごみと一緒に廃棄すると危険性があるため、市民に対し排出ルールの周知徹底を図る	53	市	○	継続	HP・保存版・市役所	「保存版」、「あ〜る(H25.3)」で在宅医療廃棄物の排出方法の啓発をしている。市役所にパンフレット設置(H22.2.1版)
		○市民ニーズに対応した収集サービスの充実	ごみステーションまでごみを持ち出すことができない市民を対象に、「サポート収集」を実施。今後も継続し、社会環境の変化やニーズに対応し、よりよい収集サービスを目指す	54	市	○	継続	HP・保存版	要件に満たない市民でも、直接訪問面談し、必要と認められる場合はサポート収集を実施する
		○適正処理困難物に係る処理	国崎CCにて適正処理が困難なものは、適正排出の周知徹底を図るとともに、販売店等における引き取りの拡充など拡大生産者責任を求めている	55	市	○	継続	HP・あ〜る	市で収集できないものは、HP「こんなごみはどうすればいいの」、「あ〜る(R3.3)」「ごみの分け方・出し方保存版」に掲載し周知に努めた。また、再生事業者と提携を結ぶなど、適正排出に向けた啓発に努めた
	(2) 国崎クリーンセンターの連携推進	○国崎クリーンセンターとの連携	国崎CCにおける処理状況や環境配慮に向けた取り組み等を把握し、市民や事業者へ情報提供することにより適正排出やリサイクルを推進する	56	市	○	継続	—	国崎が発行している「森の泉」で推進
		○国崎クリーンセンター啓発施設 環境楽習館「ゆめほたる」との連携	啓発施設と情報共有を図り、施設見学と出前講座の同時実施やイベントの共同開催など連携による取り組みを進める	57	市	○	継続	HP・あ〜る・チラシ	啓発施設において出前講座の実施。キッズリぼんでの「かえっこ」の開催
	(3) 最終処分場の安定的な確保	○大阪湾フェニックス事業への参画	次期フェニックス事業への参画継続については、次期計画の策定に向け関係市町村に求められている最終埋立処分量の削減を踏まえ、ごみの減量、リサイクルの推進と最終処分量の減量に努める	58	市	○	継続	—	HP、「あ〜る」、出前講座でごみの減量とリサイクル等について啓発
		○最終処分の状況について、市民・事業者への情報提供	最終処分量や大阪湾フェニックス事業の状況について、市民・事業者への情報提供を行い、適正排出・排出量削減への意識向上を目指す	59	市	○	継続	—	市民説明会、出前講座で説明、決算成果報告書に毎年度の状況を掲載